

# 飯高タイムズ 200

ホームページはこちら ⇒ <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/iidaxh/>

石川 飯田高校

で検索 🔍

## 第73回卒業式



普通科80名、総合学科31名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、3年前の入学式で紹介をさせていただきました、本校の校訓「清・慎・勤」の教育目標を堅実に体現した立派な高校生活でした。まさに後輩の範となる自慢の卒業生です。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。お子様はめでたく高等学校の課程を修了され、新しい世界へと踏み出します。小学校・中学校・そして高等学校とそれぞれの成長をされたお子様、その成長に注意深く寄り添ってこられた保護者の皆様のお喜びも一入だと想像いたします。「親思う心に勝る親心」と申します。親の愛情ほど深い愛はないということでしょう。親にとって子の成長は無上の喜びです。この学び舎に入学をされてから3年間、多感な時期を過ごすお子様の悩む姿に心を痛めた時もあったのではないのでしょうか、悩みは成長の糧と申します。

しかし今このように心身ともに逞しく成長した姿、これから荒波に向かって力強く踏み出そうとする姿に頼もしさを感じるとともに眩しささえ感じるのではないのでしょうか。若者の旅立ちには凜とした雰囲気漂います。

さて、世界中が新型コロナウイルス対策に混迷を深めている中、昨年12月にJAXAの小惑星探査機「はやぶさ2」のミッション成功に関するニュースは、我々日本人には勿論、世界中に元気と勇気を与えてくれました。地球から約3億キロはなれた小惑星「リュウグウ」からサンプルを持ち帰ることに成功したのです。そのサンプルには、なんと太陽系の誕生と生命誕生の謎を紐解くヒントがあるという遠大なミッションがあるといえます。見当もつかない3億キロという距離、それは地球と太陽の距離の約2倍の距離になるそうです。2014年12月に打ち上げられてから実に6年間航行を続けた快挙です。さらに驚いたことに「はやぶさ2」は地球に接近してカプセルを切り離した後、地球の側を通り抜けて次のミッションに向けて旅立ったというのです。その拡張ミッションは次の小惑星の探査に11年間を要するというのです。宇宙科学のニュースを理解するには、凡人の私には相当の時間を要します。余りのスケールの大きさに言葉を失うという表現が正しいのかもしれませんが。そして人間の可能性の無限さに勇気をいただき、人類としての誇りを感じます。「はやぶさ2」は夢や目標を抱くことの素晴らしさや、夢の実現のために努力し続けることの大切さを教示してくれました。

インドの独立の父と言われるガンジーは、「明日死ぬように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」と諭しています。「明日死ぬかのように生きよ」という教えは、一日も無駄にするなということ。一日という単位の大切さ、皆さんに何度かお話しをさせていただきました「一日一生」という姿勢です。

また「永遠に生きるかのように学べ」ということは、学びに終わりはないということです。学びには年齢や期間は関係ないのです。成長し続けることの大切さを説いています。学びとは勉学や研究ではありません。人間力を磨くことも大切な学びの姿勢です。人生は、今日という日の積み重ねのことをいいます。

最後に、これからの「出会い」について考えて欲しいと思います。「益者三友」という言葉があります。友として有益な人は、「正直な人」、「誠実な人」、「博識な人」であるという論語の教えです。ぜひそんな友人に多く出会える人生であって欲しいですし、皆さん自身がこれから出会う人にとっての益者であって欲しいと願います。一期一会を大切に皆さんの人生が素晴らしい出会いにより彩りあるものであることを願います。

「友はあなたの喜びを2倍にし、あなたの悲しみを半減してくれます」。そんな友情を大切にしてください。

結びになりますが、皆さんの母校である飯田高校は、これからも皆さんから誇れる母校であり続けるように努力をすることをお誓いし、111名の卒業生の皆さん一人一人の前途に幸多からんことをお祈りし式辞といたします。

令和3年3月2日

石川県立飯田高等学校長 佐道 正春

## 各賞受賞者の紹介

新谷敏夫奨励賞は、心清く、日々の行い慎ましく世の人のために勤しみ励むことを日々心がける「清慎勤」の精神を体得し、学業において他の模範と認められる生徒に対する表彰です。勲四等瑞宝章を受章された新谷敏夫先生の遺志を受け、平成3年に設立されたこの賞は、飯田高校生にとって極めて大きな名誉となる賞です。今年度は2名の生徒に授与されました。

また、今年度から谷辰夫奨励賞が新設されました。谷辰夫奨励賞は、「清慎勤」の精神を体得し、課外活動において顕著な成果を収めた生徒に対する表彰です。谷辰夫先生は飯田高校10回卒で、大学院修了後、大学や研究所で環境エネルギーシステムの研究に従事。再生型自然エネルギー利用技術や太陽電池の研究で東京理科大学の名誉教授として活躍され、5年前には紺綬褒章を受章されました。また、関東同窓会の元会長として飯田高校同窓会の発展に大きく寄与されるなど、能登、珠洲、母校に寄せる思いは切なるものがあります。先生からは、ここ数年に渡って飯田高校の教育活動の充実のため、多大なご支援をいただけてきました。先生の支援は飯田高校生にとって日々の主体的、創造的な学校生活を後押ししてくれる力強い助けとなっています。令和元年に設立されたこの賞は1名の生徒に授与されました。

「同窓会長賞」は、学校内外の教育活動に積極的に参加し優秀な成績を収めた個人及び団体を表彰するものです。今年度は個人9名、1団体が受賞しました。

「皆勤賞」は、3年間、無遅刻・無欠席・無早退・無欠課を継続した生徒に贈られ、今年度は20名が表彰されました。また、総合学科で優秀な実績を残した生徒に対して、専門教育に関連する協会から賞が授与されました。

### ◆新谷敏夫奨励賞

大安 沙織（3A） 頼廣 侃汰（3D） （以上 2名）

### ◆谷辰夫奨励賞

山下 立真（3D） （以上 1名）

### ◆同窓会長賞

#### 【個人】

土場 七星（3A） 松川 拓夢（3B） 鍵主 真衣（3B）

板谷 梨穂（3B） 坂口 慶一（3B） 北 唯花（3C）

白坂 晏理（3C） 菅山 晃輝（3D） 濱中 奏（3D）

#### 【団体】

ゆめかなプロジェクト「廃列車カフェ」グループ

又多 絢音（3A） 大安 沙織（3A） 加護 友依（3A）

山根 理紗（3B） 佐野 心紀（3B） 白坂 晏理（3C） （以上 9名、1団体）

### ◆皆勤賞

大畑 真大（3A） 垣内 和馬（3A） 角 はるか（3A） 國谷有里沙（3A）

高川ななこ（3A） 竹中 心愛（3A） 出口 周空（3A） 宮前 紗希（3A）

中野 太湧（3B） 西田 温（3B） 濱野 通信（3B） 坂東 菜摘（3B）

三輪 麻衣（3B） 八木 一真（3B） 木原 航志（3C） 源 悠起也（3C）

白坂 晏理（3C） 新川 響己（3C） 吉村 隼（3C） 脇田 翔太（3D）

（以上 20名）

◇専門高等学校等御下賜金記念優良卒業生 頼廣 侃汰（3D）

◇全国総合学科学学校長協会賞 光真 有里（3D）

◇全国商業高等学校協会賞 上田 真希（3D）

◇石川県商業教育グロリア賞 加護 想大（3D）



# 総合学科3年生 成果発表会

1月27日(水)6、7限目に総合学科3年生が今年1年かけて取り組んできた課題研究(総合的な学習の時間)の成果発表会を行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の関係上、日頃よりお世話になっている地域の皆様や市内中学校の先生方、PTA役員の方々にご参加いただくことができませんでしたが、活発に質問の飛び交う充実した発表会になりました。

今回の発表は、観光用の「パンフレットの作成」、「珠洲市の観光地作り」、「QRコードを利用した観光ガイド」、「飯田高校オリジナルタオル制作」など7グループの発表を行いました。生徒は緊張の場面もありましたが、実際に制作したものを紹介しながらこれまで取り組んだ成果を発表することができました。



## 研究発表テーマ

1. パンフレットの作成
2. 珠洲市の観光地作り
3. 商品開発 ~ラベルシールの改訂と販売実習~
4. 商品開発 ~飯高オリジナルタオルの作成~
5. QRコードを利用した観光ガイド
6. 奥能登ランプ制作
7. フェスティバルの企画・運営

## PTA理事会

2月5日、PTA理事会が行われました。

今年度の活動中間報告や、卒業式について等が議題に挙げられました。

今年度は、PTA活動が思うようにできない1年となってしまいましたが、さまざまな変化にも柔軟に対応できる活動を続けていきたいと思えます。

PTAの皆様をはじめ、地域の方々からもたくさんのお力を頂いた1年となりました。厚く感謝申し上げますとともに、今後どうぞよろしくお願い申し上げます。



PTA理事会の様子

## 全日本ジュニアウエイトリフティング選手権

2月5日から7日にかけて山梨県山梨市の山梨市民総合体育館で行われた第41回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会に、本校ウエイトリフティング部の3名が、出場しました。結果は以下の通りです。

また、山下立真選手は今大会の男子最優秀選手に選ばれました。

女子49kg級 優勝 山下笑佳(2D)  
 女子64kg級 4位 中島史稀(2D)  
 男子67kg級 優勝 山下立真(3D)(クリーン&ジャークで日本高校新記録樹立)

山下立真  
 日本高校新記録を樹立した



# ゆめかなプロジェクト 次年度へ向けて ～奥能登5校の協働も視野に～

あっという間に2月も過ぎ去り、残りのゆめかな学習の時間もわずか1回となりました。ただ今、生徒たちは、今年度の学習活動をまとめた報告書(右図)の作成に取り掛かっているところです。

今年度の新しい取組として、2月4日(木)には、奥能登地区の5つの高校(輪島、門前、穴水、能登、飯田)の間で、「総合的な探究の時間」での学習成果を報告する合同発表会をオンラインで企画していました。しかし、県下一斉のネットワーク不具合により惜しくも実施が叶いませんでした。その代わりに、各校で撮影した発表動画を共有し、後日意見交換の場を設定する予定です。奥能登5校の生徒による協働的な学習が、探究学習の進展をさらに後押ししてくれることでしょうか。このような期待を込めつつ、合同発表会の開催は来年度に持ち越したいと思えます。

また、高校だけでなく中学校での総合学習との連携も深めていきたいと考えています。小・中学校で経験してきた地域についての学習をベースにし高校での探究学習に取り組むという、タテ方向につながりをもった取組を目指したいです。

今後も引き続き、ゆめかなプロジェクトの学習にご関心をお寄せいただけますと幸いです。

発表動画の一部→  
テーマ「米を畑で育てることは可能なのか？」



## 祝！飯高タイムズ200号



本号の発行をもちまして、本校の広報紙「飯高タイムズ」はめでたく創刊200号目を迎えました。「飯高タイムズ」は、平成16(2004)年7月1日に第1号が創刊されて以来、生徒の学習の様子や学校行事、部活動結果や進路実績などさまざまな情報を発信し続けてきました。

この場を借りまして、これまでの「飯高タイムズ」の作成・編集を担ってきた歴代の本校総務課職員のみなさん、記事や写真を提供して下さった生徒・卒業生・教員のみなさん、そして何より、今までにお読みくださったすべてのみなさんに御礼を申し上げます。

## 3月行事予定

日	曜日	行 事
1	月	1・2年生学年末考査
2	火	第73回卒業式 学校だより発行
5	金	午後から10日まで敷地内全面立ち入り禁止
6	土	国公立大学前期試験合格発表
8	月	国公立大学中期試験
9	火	学力検査①
10	水	学力検査②
11	木	次年度前期生徒会役員選挙告示
12	金	国公立大学後期試験
13	土	スタディーサポート(1・2年普) 進路マップ基礎力診断テスト(1年ビ) 実教基礎学力テスト(2年総)
17	水	春季球技大会、高校合格発表
18	木	次年度前期生徒会役員選挙立ち合い演説会・投開票
19	金	新2・3年生個人写真撮影 卒業生と語る会(2年普 ※オンライン)
20	土	国公立大学中期発表、後期発表
22	月	予備入学
24	水	3学期終業式、離任式、 春季休業中の生徒心得指導
25	木	春季補習①
26	金	春季補習②
29	月	春季補習③、※定時退校日